平成23年10月1日
10月号
発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

教育随想 …… 1
自然科学研究機構
基礎生物学研究所長
岡田　清孝氏
この人に聞く …… 2
名古屋グランパスエイトコーチ
今久保　隆博氏
羅針盤 …… 2
額田中学校長　山田　賛平
ふれあい …… 3
六ツ美北中　浅井　美緒
特集 …… 4
岡崎市総合学習センター開館
有効な施設として
お知らせ …… 6
フォト・ヒストリー … 8
岡崎ゲンジボタル幼虫放流式
この本を …… 8

教育随想

震災に打ち勝つ研究教育を目指して

自然科学研究機構
基礎生物学研究所長
岡田　清孝　氏

三月十一日午後に起きた大地震と津波によって、東北の太平洋沿岸部で多くの人命が奪われ、多数の家屋や施設が大きな被害を受けました。原子力発電所の事故によって放射能汚染が広がっています。被災された皆様にお見舞い申し上げるとともに、復旧復興に努力していらっしゃる方々に敬意を表します。被災者の落ち着いた節度ある振る舞いが国際的な称賛を浴び、国内や国外から様々な援助の申し出がなされたことは嬉しいことでした。

東北地方や北関東地方の大学や研究所のなかには、建物や設備が被害を受けたばかりでなく、電気・水道・ガスなどの供給が長時間停止したために、研究機器が使えず、マウスやショウジョウバエなどの実験生物の育成ができなくなったところが多数ありました。国内外の数多くの大学が、被災した研究者や学生に研究設備と書籍の提供や実験生物の受け入れを申し出ています。私の友人である韓国高麗大学の教授からも援助の連絡がありました。岡崎の三研究所（基礎生物学研究所、生理学研究所、分子科学研究所）では、岡崎に避難して研究を続けてもらうことを目的とした緊急の援助プロジェクトを地震の一週間後にいち早く立ち上げました。これまでに五十名を越える研究者や学生が岡崎に来ています。研究者の国際的な相互援助の精神を改めて確認しました。

今回の震災発生においては、「想定外」との言葉が踊り、科学的な実証が困難な問題があることが明らかになりましたが、科学技術に対する信頼は揺らいでいないと思います。長期に渉る復興を支え、日本の活力を取り戻すためにも質の高い教育や研究を続けるために努力したいと考えています。

（おかだ　きよたか）

この人に聞く

個と向き合う

名古屋グランパスエイトコーチ
今久保　隆博　氏

昨年十一月、名古屋グランパスエイトのリーグ戦優勝の歓喜の中に、トップチームのコーチとしてグランパスを支えてきた今久保氏の姿があった。

「優勝したときはうれしかったですが、それに値する積み重ねがずっとあったからようやくという感じでした。特にとび上がるほどではなかったです。」

チームの練習を終え駆けつけた今久保氏は、落ち着いてそう語った。

小学校四年生から兄の影響でサッカーを始め、中学、高校、大学とサッカーに没頭する若者だった。卒業後数年間、選手か指導者かと悩んだ末、グランパスの下部組織のなかの小学生クラスを教える指導者として出発した。

そして、そこで出会った経験豊富なルーマニア人コーチの「あなたがプロコーチとしてトップを目指したければ、指導に必要と思うものすべてを学びなさい。その先に成功がある」という言葉が指導者としての決意を堅固にさせた。すべてを基礎から学ばないと、トップチームではやっていけないと悟った今久保氏は、それから、サッカー技術だけでなく、運動生理学や統計学、語学、心理学などを独学で学んでいった。

そのとき小学生だった子供たちも、やがてトップチームで活躍する選手となり、それと同時に今久保氏もトップチームコーチへと昇格を果たした。「将来、プロサッカー選手としてやっていける選手を育てる」ことを目標にする今久保氏にとって、自分が育ててきた選手がプロとして活躍することは、コーチ冥利に尽きるという。

しかし、それまでには失敗も多く、試行錯誤の連続であった。

「親から、どうしてうちの子を使ってもらえないのか、指導はどうなっているかなどの苦情もありました。今考えると、子供との関係を少しおろそかにしていたのではと思います。小学生の大会で結果を求めるあまり、子供一人一人に配慮が足りなかったのです。」

と、当時を振り返りこう付け足した。

「子供と向き合うときは、コーチ対チームではなく、コーチ対一人の選手という関係を大事にしなければいけないという結論に達しました。そのなかで、洞察する、配慮するという二つのポイントを大事にしてきました。」

それは、今のトップチームにおいても変わらないという。

「トップチームの選手の相談は、小学生の質問とあまり変わりません。ボールがうまくけれないとか、どう動いたらいいか分からないとか。しかし、その質問の背景にあるものは全く違います。本当に分からないのか、上手にできない焦りなのか、周りへの不満なのか、または別の理由なのか。それを見抜いて、その選手に応じてどうアプローチするかを考えていくことがコーチとして大切なのです。」

リーグ戦の真っただなかでも、わが子の授業参観や部活動など、学校にも積極的に顔を出す。

「学校の先生方の振る舞いからも勉強になることが多いですよ。個と向き合う教師とは共通点があります。」

と笑顔で話す。

華やかなJリーグのなかで、一人一人が力を出し切れるように向き合い、陰で指導する今久保氏の活躍が、グランパスを支えている。

（氏　名　いまくぼ　たかひろ
生年月日　昭和四十七年四月一日
住　所　岡崎市在住）

羅針盤

言語とイメージ

額田中学校長
山田　賛平

二十年近く前になる。学習情報指導員として見させていただいた国語の授業のことである。昆虫に関する説明文が題材であった。授業者はふんだんに写真や図、動画を駆使して、記述の事柄を可視化していた。この学習にあたっては、まず子供たちのイメージを豊かにしようと考えたのである。子供たちの活動量の多い授業展開もとても印象的で、言語とイメージの関わりは、私の授業を見る一つの視点となった。

安彦忠彦氏（当時は名古屋大学、現在は早稲田大学教授）のお話を聞く機会があった。学習者には認識するときに、文字型と視覚型、熟慮的と衝動的のパターンがあるという。つまり、言語のほうが分かりやすい

ふれあい

それぞれの『決意』

六ツ美北中　浅井　美緒

昨年度、初めて三年生の担任をすることになった。三年間持ち上がった学年で、思い入れも深かった。

秋になると、学校の中は合唱一色になる。最後の合唱コンクールに生徒たちも意気込んでいた。しかし、曲決めから難航した。選曲した曲が他のクラスと重なってしまったのだ。そこで、私は、心に残る特別な歌を歌わせたいという気持ちから『決意』という歌を探してきた。

「今まで生きてきたあなたの後姿を人間としてのあるべき生き方として学び、受け継ぎ、未来への一歩を踏み出す」という意味の歌詞で三年生にぴったりの歌だ。

音楽主任に頼んで候補曲に入れてもらったことは、生徒たちに自分の考えを押し付けたくないという気持ちから内緒にした。再び曲を選び、『決意』に決まったものの、元気いっぱいの歌を歌いたかった生徒たちは、あまり納得いかない表情だった。

三日後、私は曲のモチーフとなった司馬遼太郎の『二十一世紀に生きる君たちへ』を紹介した。自分にとって生き方を学ぶ「あなた」は誰か、未来への一歩を踏み出す『決意』とは何かをみんなで考えることにした。すると、生徒たちのなかから思いがあふれ、どんどん言葉になって出てきた。家族、仲間、先生……日頃素直に言えない気持ちがあふれてきた。私は、「○○の決意」と生徒の名前を書いた練習用のCDを一人一人に渡した。多くの先生に、生徒たちの歌を聴いていただくと、皆から「何かを伝えたいという思いが弱い」と言われた。

学級通信に生徒たちの決意を載せてしばらくたった日、生活ノートにA子が次のように書いてきた。

「司馬さんの目指し望んだ二十一世紀に、果たしてなれているかはわかりません。でも、私たちがこの文章を読み、変われたこと、そして新たに未来へ一歩踏み出したこと……。一人一人が思っている『あなた』への思いを伝えていきたいです。」

他の生徒も同じ気持ちのはずだ。学級通信にA子の気持ちを紹介した。それから歌が変わった。彼らの目や口、顔の表情、そして声は、今までと違う何かを伝えようとしていた。

合唱コンクール当日。朝、教室へ行くと、既に練習している生徒たちの姿があった。その歌声を聴いたとき、私の中でこらえていたものが一気にあふれ出てきた。そして、この曲を候補曲のなかに入れてもらったのは、担任の私であることを伝えた。歌声に生徒たちの『決意』を感じた。

本番、堂々とステージに立つ生徒たちの顔は輝いていた。残念ながら入賞を果たすことはできなかったが、私たちは「一つの目標に向かい、どのクラスよりも努力する」という特別なものを手に入れた気がした。

卒業式の日。最後の学級の時間が終わろうとしたとき、生徒たちが立ち上がった。

「『決意』は、私たちにとって特別な歌になりました。みんなで歌うので聴いてください。」

最後にみんなで歌った『決意』は、それぞれの未来へ歩んでいく思いがつまっていた。あの日巣立っていった三十八人は、きっと今もそれぞれの『決意』を胸に、前を向いて歩いていることだろう。

人と、具体物のほうがよいという人がいて、じっくり進める人とスピーディな人、というような学習タイプが存在するというのである。

イメージと言語に関して、さらに大きなヒントを得ることができた。「個に応じる」ならば、まず、それぞれのタイプの学習者に応じた授業の手だてを考えなくてはならない。

授業での教材が文字や言語のみであったり、画像や動画の見せっぱなしであったりすれば、学習者のタイプによっては満足が得られないし、理解の度合いにも不十分な面が生じやすい。学習においては、イメージと言語の結びつきが欠かせないものである。個に応じた授業、活発な授業を目指すには、適切な言語と豊富なイメージのよりよい組み合わせを考えることが重要である。

岡崎市の小中学校では、授業で必要な画像、動画、図表などを容易に教室で提示ができるようになってきた。二十年前は、拡大写真、模造紙、二十型テレビを使っていた。今なら、もっと大きな鮮明画像を簡単な操作で、子供たちに見せることができる。「個に応じる多彩な授業」の創造につながるものである。

岡崎市総合学習センター開館

有効な施設として

▲授業力・教師力アップセミナー基礎編「総合的な学習の時間」（２階教育研究室２）

八月二日、岡崎市教育委員会の運営管理する岡崎市総合学習センターがオープンした。

敷地面積一万五千㎡の中には、市内の教職員向けの「教育研究・研修エリア」（二・三階）、一般開放の「生涯学習エリア」（一階）がある。

三階の教育図書室には、最新の教育図書が集められ、借りることができる。指導案集や研究紀要など、市内小中学校における出版物も閲覧可能である。古い書籍や資料も倉庫に大切に保管されており、総資料数は一万七千冊にもなる。夏休み期間中は、二学期に向けて教材の研究に励む多くの教師が利用した。特に、学芸会のシナリオ作りのための資料閲覧が多かった。

視聴覚資料室には、市内小中学校の学芸会や体育大会のＤＶＤが保存されており、臨場感あふれる音と映像で見ることができる。

相談室には、市内の教員をサポートする現場経験の豊富な教育アドバイザーが在籍している。学級経営や日々の授業の改善、学校経営など、教員が多岐にわたるアドバイスを受けることができる体制が整えられている。

教材開発室は二部屋あり、教材研究の場として活用できる。ここには防音設備が整っており、迫力のある音響システムを利用することもできる。二階には、会議ができる教育研究室が四部屋ある。

一階は、二つの会議室と和室のほか、喫茶コーナーもあり、教職員も利用できる。

どの施設も気軽に利用することができ、今後、岡崎市の教員の力量を高め、岡崎の教育の向上発展を図る有効な施設として大いに期待されている。

教育研究・研修エリア（教職員向け）

＜教育研究所＞

○教育研究室４室・教材開発室２室・教育図書室・相談室・視聴覚資料室（施設内無線LAN完備）

○**予約・問い合わせ等**　83－7770（３階教育研究所事務室）

※インターネットで以下の所を開いていくと、「利用申込書」を引き出せる。OKネットのメニューの設備予約で教育研究所の予約状況が閲覧できる。

ＯＫリンク⇒教育施設⇒教育研究所⇒内部ページ

生涯学習エリア（一般向け）

○大ホール・体育室・小ホール・事務室・会議室２・和室・喫茶コーナー・談話コーナー

○**予約・問い合わせ等**　54－1115（１階総合受付）

共通

○**駐車場**　約250台　　○**駐輪場**　約45台

▲旧テニスコートを改修した駐車場

＜教育研究・研修エリア（３階）＞

◇　**教育図書室の利用**

・図書利用者届出書に記入し提出（初回のみ）
　貸出（１週間５冊まで）
　指導案、脚本は閲覧のみ

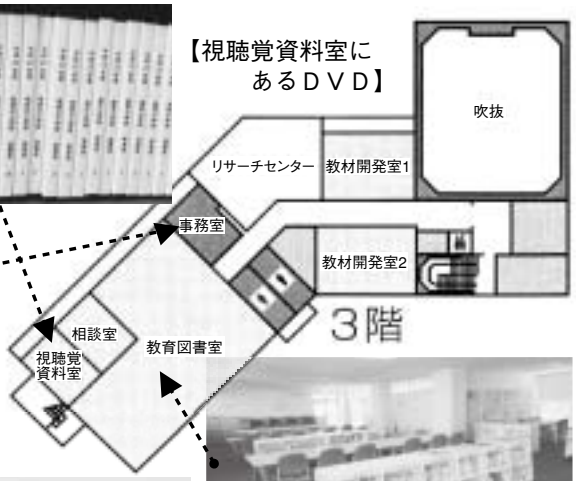
◇　**教育アドバイザーへの相談**

・随時受付（当日も可）

◇　**教材開発室・視聴覚資料室の利用**

・３階**事務室**で受付し鍵をもらい、
　利用後、返却
・定員　教材開発室１・２…36人

【視聴覚資料室にあるＤＶＤ】



【教育図書室は、小グループの会議も可能。パソコンもある。】

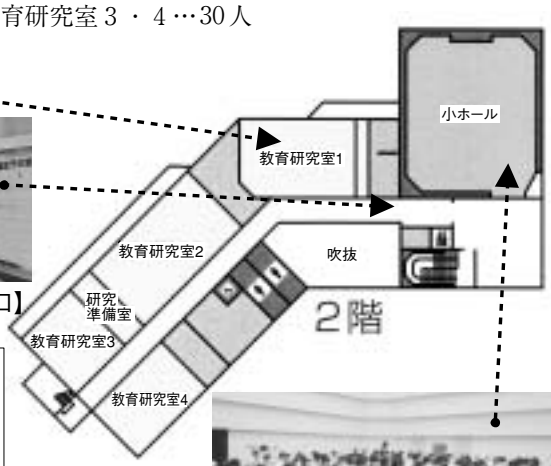
＜教育研究・研修エリア（２階）＞

◇　**教育研究室の利用**

・利用方法は３階教材開発室利用と同じ
・定員　教育研究室１…48人　教育研究室２…72人　教育研究室３・４…30人

【会議や教材研究に利用（教育研究室１）】

【２階の教育研究所入り口】

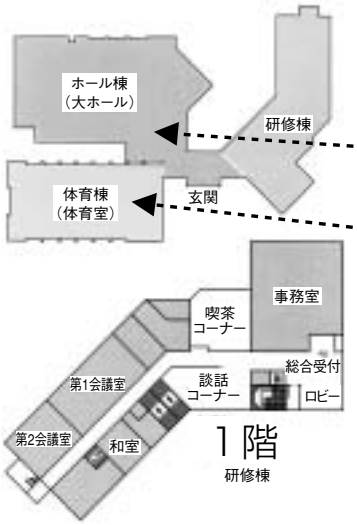


利用者（教員）の声

授業力教師力アップセミナーの研修で教育研究室を利用しました。窓からは、木々が見られ、とても落ち着いて研修ができました。休憩時間に、多くの先生方が、３階の図書室を利用していました。これまでの研究所よりも広く、きれいで図書等もわかりやすく配置され、大変便利でした。会話も自由にでき、同僚と楽しめる雰囲気でした。

【岡崎市教育研究大会：英語部会（小ホール）】

＜生涯学習エリア（１階）・駐車場＞



１階の大ホールは、最大796人収容できる。２階の小ホール（収容可能人数120人）も一般開放している。体育室では、バスケットボール・バレーボール・ソフトテニス・バドミントン・卓球が楽しめる。

【バドミントンを楽しむ人（体育室）】

【岡崎市中学生主張コンクール（大ホール）】

お知らせ

● 教育最新情報

○岡崎市総合学習センター開所式

八月二日（火）、岡崎市総合学習センターが、岡崎市上地に開所した。

教員の研修の拠点として、また、市民の生涯学習の場として、大いに活用されることが期待されている。

▲式典「市長あいさつ」

当日は、小ホールで式典が行われ、テープカットはロビーで行った。

▲テープカット

○研究発表会案内

十月、十一月は、小学校三校、中学校一校で研究発表会が開催される。

連尺小学校、本宿小学校は市研究委嘱による発表で、初任者研修を兼ねる。連尺小の発表は、特別支援学級初心者研修（小学校担当者）も含わせて行う。矢作東小学校、竜海中学校は、自主発表である。それぞれの学校の研究の成果を学び、各学校での子供の指導、学校づくり、実践研究に役立てていきたい。

◆岡崎市立矢作東小学校

十月四日（火）

※自主発表

「国語力向上をめざす授業の創造　―書く力をつけることを中心にして―」

・児童の書く力をつけることを中心にして、国語力（話す・聞く、書く、読む）向上をめざした授業のあり方を研究してきた。モデル文の提示とペア学習の導入、ことばの広場の時間の設定、発表の場の拡充を研究実践の柱に据えた。当日は、国語の授業、生活単元の授業の公開、授業を語る会（パネル討論）を行う。

◆岡崎市立竜海中学校

十月十二日（水）

※自主発表

「自ら学び、表出する生徒の育成　―教科指導を中心に―」

・生徒一人一人の個性を伸ばすとともに、集団との関わりの中で自己研鑽に努め、自ら行動することのできる生徒の育成をめざし、「わかる学習指導」に取り組んでいる。生徒自身の主体的な学びをさらに広げようと、学習の目的意識や、自らの考えなどを表出することを中心に実践研究を行っている。当日は、授業、「CMT（振り返りとコミュニケーション活動）」の公開、教科別協議会を行う。

◆岡崎市立連尺小学校

十月十九日（水）

※市研究委嘱（H21～）

「確かさ・豊かさ・楽しさを究める連尺の国語科学習　―『読みの力』を支える言語活動の充実―」

・読むことの研究に焦点を当て、「読みの力」を着実に育むため、「言語活動の充実」を中心に実践研究を進めた。カリキュラムや単元構想・授業の工夫、連尺タイムの充実が研究の中心である。当日は、連尺タイム・国語科の授業の公開、授業者と語る会を行う。

◆岡崎市立本宿小学校

十一月二日（水）

※市研究委嘱（H21～）

「生きる力を育む小学校英語の創造　―英語が話せる本宿っ子をめざして―」

・英語に慣れ親しみ、伝え合う楽しさを知り、積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとする子を育成するため、英語活動のあり方を探ってきた。英語DVD教材「OKイングリッシュ」の視聴と、ALT・STと担任の役割を明確にしたオールイングリッシュをめざした効果的な協同授業を柱として研究実践に取り組んだ。当日は、Eタイム（DVD視聴）、英語活動の授業の公開、授業を語る会を行う。

● 表　彰

◆第三十八回全日本中学校陸上競技選手権大会

男子走り幅跳び

五位　岩津中三年　永尾直哉

◆第五十一回全国中学校水泳競技大会

女子一〇〇Mバタフライ

七位　竜南中三年　平岩桃夏

◆第三十二回文部科学大臣杯少年少女囲碁大会全国大会

中学生の部

二位　南中三年　杉田俊太朗

◆第二十二回伊藤園おーいお茶新俳句大賞（全国）

佳作特別賞

美合小六年　浅井克貴

◆全国第七回「プリントコミュニケーションひろば」

ひろば賞（学級通信）

三島小教諭　浅井優子

北中教諭　武井　翔
新人賞（学級通信）
六ツ美中部小教諭　青山絢香
佳作（学級通信）
美合小教諭　成瀬美穂
福岡小教諭　西片茂雄
本宿小教諭　高木理人
城南小教諭　藤田　宏
美川中教諭　北村優也
福岡中教諭　清野良祐
佳作（学校だより・教務通信・部活動通信）
北野小校長　岡本孝幸
井田小教諭　名倉嘉章
竜南中教諭　近藤園子

◆第三十三回東海中学校総合体育大会

水泳競技一〇〇Mバタフライ
優勝　竜南中三年　平岩桃夏
水泳競技一〇〇M背泳ぎ
優勝　矢作北中三年　中嶋里実
水泳競技一〇〇Mバタフライ
二位　矢作中三年　新出拓杜
水泳競技四〇〇Mメドレーリレー
二位　矢作中三年
細井雄介　土屋尚也
新出拓杜　今村公亮
水泳競技二〇〇M背泳ぎ
三位　矢作中三年　細井雄介
陸上競技走り幅跳び
優勝　岩津中三年　永尾直哉
陸上競技一〇〇M
三位　矢作中三年　黒木省悟
陸上競技一〇〇M
三位　六ツ美北中三年
村越優里奈
柔道競技八十一kg級
三位　矢作北中三年　林　隆太
剣道競技男子団体
三位　矢作北中学校
バレーボール競技女子
三位　六ツ美北中学校
※全国大会出場

◆第六十五回愛知県中学校総合体育大会

剣道競技男子団体
優勝　矢作北中学校
※全国大会出場
バレーボール競技女子
優勝　六ツ美北中学校
バレーボール競技男子
二位　矢作中学校
水泳競技一〇〇Mバタフライ
優勝　竜南中三年　平岩桃夏
陸上競技女子総合
二位　竜海中学校
陸上競技一〇〇M
優勝　矢作中三年　黒木省悟
※全国大会出場
陸上競技一一〇Mハードル
優勝　甲山中三年　鈴木康隆
陸上競技走り高跳び
優勝　竜海中三年　近藤佑香
バスケットボール競技男子
二位　城北中学校
三位　六ツ美北中学校
卓球競技女子
二位　額田中学校
ソフトボール競技女子
三位　葵中学校
城北中学校

◆その他の全国大会出場者

陸上競技走り高跳び
美川中三年　近藤雅哉
陸上競技一〇〇M
六ツ美北中三年　村越優里奈
陸上競技走り高跳び
福岡中三年　稲垣　碧
水泳競技五〇M自由形
岩津中三年　堀越幹人
水泳競技四〇〇Mメドレーリレー
矢作中三年
細井雄介　土屋尚也
新出拓杜　今村公亮
水泳競技四〇〇Mメドレーリレー
矢作北中　三年　中嶋里実
二年　菅田佳穂　余合　結
野澤瑠莉

◆第四十一回愛知県野生生物保護実績発表大会

愛知県知事賞　生平小学校
県教育委員会賞　美合小学校
宮崎小学校

◆防犯少年団モデル校（県表彰）

広幡小学校（防犯少年団）

◆第五十四回中部日本吹奏楽コンクール県大会

優秀賞　竜海中学校
※中部日本大会出場

◆平成二十三年度愛知県小学校バンドフェスティバル

銀賞　美合小学校
大樹寺小学校

◆第五十一回愛知県合唱コンクール

中学校部門同声の部
銀賞　矢作北中学校

◆県黄河大恐竜展イラストコンテスト

優秀賞
広幡小五年　仁井本昇也
羽根小二年　福冨颯士郎

◆第二十五回岡崎市中学生の主張コンクール

優秀賞
甲山中三年　近藤史都
竜南中三年　小野恭平
葵中三年　辻田あかり
南中三年　深津紗耶

◆第五十三回岡崎市小中学生英語スピーチフェスティバル

一般の部入賞
甲山中三年　杉浦あや
附属中三年　村松亜美
額田中三年　ニコル角谷泉
附属中二年　佐藤佑哉
南中三年　今村ジェーンファー
城北中二年　近藤マーク
葵中三年　武井美樹
新香山中三年　大友みなみ
常磐中二年　中根大雅
帰国子女の部入賞
岩津中二年　中嶋華菜
北中二年　八木本亜実

●月報「岡崎の教育」について

昭和四十八年六月、常に教育の原点を見据え、軌道を修正し、日々新しい歩を進めるための一助とするという目的で月報「岡崎の教育」は創刊された。三十九年目である。

今年、平成二十三年度より、岡崎市の教育の取組を市民の皆様にも知ってもらえるよう、年に三回、回覧板に入れることとした。今年は、四月号をすでに回覧し、今年度は、あと、一月号の回覧を予定している。

なお、月報「岡崎の教育」は、岡崎市のホームページの組織別メニュー「教育委員会」「学校指導課」のページから見ることができる。

フォトヒストリー 岡崎の教育

岡崎ゲンジボタル 幼虫放流式

（平成元年）

写真提供：河合中学校

この写真は、平成元年に秦梨町大橋河原において行われた第二十二回岡崎ゲンジボタル幼虫放流式の様子である。

高度経済成長期の昭和三十年代ごろから、生田ホタル発生の地とされる山綱川下流域にホタルの発生が見られなくなった。昭和四十年代に入り、生田ホタル保存会から河合中学校へ人工増殖の依頼があり、幼虫の誕生をみることができた。その後、昭和四十二年に岡崎ゲンジボタル河合保存会が発足し、翌年、乙川・男川でホタル幼虫放流式が行われた。

絶滅の危機にあったゲンジボタルの養殖と放流に取り組んで、本年度で四十五年が経過する。その間、河合中学校は地域の環境保全への取組も行ってきた。その結果、学区の河川においてゲンジボタルの発生数は、確実に増えてきている。市内の小中学校においても、こうした河川を中心とする環境美化活動を行っている学校が増えつつある。

・カット　六ツ美北中　杉崎秀夫

オアシス

大人の指導をさめた目で見始める年代の子供たちの気持ちをつかむことは難しいが、とても大切だと今久保氏は語る。いつでも教育の根底にあるのは「信頼」である。個を見つめ、個に応じた指導があるからこそ、様々なプロ選手とも信頼関係が生まれるのであろう。我々も、学校というフィールドで最高の力を出せる選手（子供）を育てる教師でありたいと望む。

静かに本を読む。図書館利用の常識である。今回新たにオープンした総合学習センターの教育図書室には、六人掛けの大きなテーブルが七つ用意されている。そこは、小グループで最新の教育図書を囲み、気軽に会話しながら利用できる空間である。

岡崎の子供たちのため、私たちは日々研修に励む意識をもち続けたい。

あんぐりと口を開けて見入る子。眉間にしわを寄せ、にらみつけるように見つめる子。絵本の楽しみ方は人それぞれで、一人離れて座る子もあれば、かぶりつきが特等席という子もいる。保護者による読み聞かせの時間は、子供と一緒に絵本の世界に浸るのもいいが、絵本に心を奪われた子供たちの顔を眺めるのもまた一興。絵本とともに子供の心も読み取れたらいいなと思う。

ススキを飾って、十三夜の夜を楽しむ。月の明るさ、虫の声などに十五夜のころとは違った秋を感じる。

芸術の秋、読書の秋である。秋の夜長をどう過ごそうか。本物を見て、活字から知識を得て、一人の人間としての幅を広げたいものである。歴史小説を読んでいたら、秋の風がやさしくページをめくった。

この本を

＊金子みすゞ　矢崎　節夫・萩原　昌好
あすなろ書房　¥1,575

＊心を整える　長谷部　誠
幻冬舎　¥1,365

＊世界が感嘆する日本人　別冊宝島編集部
宝島新書　¥700

＊大人の流儀　伊集院　静
講談社　¥980

＊つるかめ助産院　小川　糸
集英社　¥1,470

虐待，ＤＶ，精神疾患……。自殺者は増加の一途を辿り，年間３万人を超えている。学校や職場，家庭で心を壊す人がいかに多いか。

失踪した夫を探して南の島に来た主人公は，島の助産院で妊娠を知らされる。辛い出生の秘密をもつ彼女は戸惑うが，命を育むことを通して，生きる意味を見つける。

彼女を取り巻く島の人々の生き方が，実にシンプルで温かい。生きるうえで本当に大切なことは何か，考えさせられる一冊である。

男川小　安藤　直哉